



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 上場取引所 東
 コード番号 8769 URL https://www.armg.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥越慎二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 栗原直彦 TEL 03-5794-3800
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,220	0.4	103	△46.1	103	△46.3	67	△46.6
2020年3月期第1四半期	1,214	8.5	192	20.4	193	21.0	126	22.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 67百万円 (△46.6%) 2020年3月期第1四半期 126百万円 (22.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.99	3.99
2020年3月期第1四半期	7.48	7.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,477	3,254	58.1
2020年3月期	5,474	3,373	60.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,182百万円 2020年3月期 3,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	11.00	11.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	0.00	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	6.4	640	△32.8	640	△33.0	425	△33.5	25.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	17,243,200株	2020年3月期	17,243,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	300,530株	2020年3月期	300,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	16,942,670株	2020年3月期1Q	16,934,641株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は極めて厳しい状況で推移いたしました。先行きにつきましては、感染拡大の防止策を講じつつ社会経済活動レベルが段階的に引き上げられる中、緊急経済対策等の各種政策の効果により持ち直しに向かうことが期待されるものの、感染症第2波への懸念も高まっており、引き続き予断を許さない状況となっております。

このような経済状況の下、当社は、2018年8月に策定した「中期経営計画2020」（2018年度～2020年度）に基づき、新規顧客の開拓や既存顧客との取引深耕に取り組みとともに、既存事業で培ってきた強みを活かして周辺領域へのビジネス拡大を推進いたしました。メンタリティマネジメント事業においては、健康経営・人材開発支援事業のプラットフォームを確立し、また、就業障がい者支援事業においては、仕事と疾病・育児・介護等との両立支援事業のプラットフォームを確立することにより、企業の生産性を最大化するとともに人々が安心して働ける環境を整備することを経営ビジョンとした事業活動を展開いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、就業障がい者支援事業は伸長したものの、新型コロナウイルス感染症の影響によりメンタリティマネジメント事業は減収となり、全体としてはほぼ横ばいとなりました。

一方、費用面につきましては、各事業の成長戦略を見据えた人的投資等の諸施策を実施した結果、経費負担が増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,220百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は103百万円（前年同期比46.1%減）、経常利益は103百万円（前年同期比46.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は67百万円（前年同期比46.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下の通りです。

(メンタリティマネジメント事業)

当事業におきましては、健康経営・人材開発支援事業のプラットフォーム確立に向け、ストレスチェック結果に基づく職場環境改善や組織活性化のためのソリューション商品のラインアップ拡充を図り、企業の健康経営・人材開発を支援する事業領域でのビジネス拡大に取り組みました。また、ミドルマーケットをターゲットとした新規顧客開拓、WEBを活用した遠隔地向けリモート営業体制構築等、営業活動の効率化に取り組みとともに、ハラスメント対策や健康経営推進といった、顧客企業の組織課題解決への関心の高まりに対応したテーマ別セミナー開催等のマーケティング活動を推進いたしました。なお、本年2月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部のソリューション商品の提供が困難になりましたが、オンラインによる研修サービス提供等、今後の業務環境の変化を見据えた対応を実施いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、法制化対応商品「アドバンテッジタフネスシリーズ」に加え、産業医紹介サービスが伸長いたしましたが、集合研修の延期や中止等の影響が大きく、事業全体としては減収となりました。費用面につきましては、中期経営計画を踏まえた新たな商品及びサービス開発体制の強化や、ストレスチェック後のソリューション商品提供に注力した営業活動への積極的な人的資源の投下を実施した結果、経費負担が増加しました。

これらの結果、メンタリティマネジメント事業の売上高は857百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は123百万円（前年同期比32.9%減）となりました。

(就業障がい者支援事業)

当事業におきましては、特に、新たな連携先との関係構築および既存連携先との関係深化によるGLTD（Group Long Term Disability：団体長期障害所得補償保険）の新規顧客開拓に取り組みました。また、両立支援事業のプラットフォーム確立に向け、既存の休職者・復職者管理システム「H-A-R-M-O-N-Y（ハーモニー）」の改良、刷新による新システム開発を推進いたしました。新システムにつきましては、産休・育休・介護休業等、多様な顧客ニーズに対応することを第一義とし、開発作業と併行して、新システム活用による休業者・復職者管理実務のリスクと負担軽減を訴求した営業活動を展開し、顧客開拓については順調に進展いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、新規契約獲得による増収が売上伸長に寄与いたしました。費用面につきましては、今後の事業展開を見据えた要員の配置および新システム構築に係る投資を先行的に実施した結果、人件費およびIT関連費用が増加いたしました。

これらの結果、就業障がい者支援事業の売上高は285百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は72百万円（前年同期比36.6%減）となりました。

(リスクファイナンス事業)

主に企業等に勤務する個人を対象として保険商品を販売している当事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。費用面につきましては、効率的なオペレーション業務体制の維持によりコスト抑制に努めました。

これらの結果、リスクファイナンス事業の売上高は77百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は60百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より2百万円増加し、5,477百万円となりました。流動資産は106百万円減少し、4,175百万円となりました。これは主に、当期間の経営成績の結果により現金及び預金が増加した一方で、保険代理店勘定が減少したことによるものです。固定資産は109百万円増加し、1,301百万円となりました。これは主に無形固定資産の取得によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より121百万円増加し、2,222百万円となりました。流動負債は127百万円増加し、2,159百万円となりました。これは主に、前受収益が増加した一方で、保険料預り金が減少したことによるものです。固定負債は6百万円減少し、63百万円となりました。これは主に、本社事務所の集約により資産除去債務が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より118百万円減少し、3,254百万円となりました。これは主に、配当を実施したことによるものです。

なお、保険会社に帰属する保険料で当社の口座に残高のあるものについては、保険代理店勘定及び保険料預り金として対照勘定処理を行っております。これらを除いた場合の自己資本比率は59.8%となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難なことから、2020年5月14日に公表の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

詳細につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました「連結業績予想及び配当予想並びに中期経営計画の数値目標修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,982,731	3,221,623
売掛金	726,189	633,178
保険代理店勘定	433,428	152,774
その他	140,458	168,334
流動資産合計	4,282,807	4,175,910
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	287,304	287,304
減価償却累計額	△123,487	△133,273
建物附属設備(純額)	163,816	154,030
工具、器具及び備品	213,222	215,217
減価償却累計額	△165,134	△161,143
工具、器具及び備品(純額)	48,088	54,073
有形固定資産合計	211,905	208,104
無形固定資産		
のれん	143,908	130,206
ソフトウェア	259,225	258,274
ソフトウェア仮勘定	215,539	380,010
その他	2,120	2,530
無形固定資産合計	620,794	771,022
投資その他の資産		
投資有価証券	52,806	52,806
敷金及び保証金	203,356	203,515
繰延税金資産	92,033	56,344
その他	10,724	9,591
投資その他の資産合計	358,920	322,258
固定資産合計	1,191,620	1,301,384
資産合計	5,474,428	5,477,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	170,000	170,000
未払法人税等	174,787	10,591
前受収益	696,054	1,172,535
保険料預り金	433,428	152,774
賞与引当金	185,557	86,625
資産除去債務	—	6,104
その他	371,766	560,532
流動負債合計	2,031,594	2,159,163
固定負債		
資産除去債務	69,463	63,455
固定負債合計	69,463	63,455
負債合計	2,101,058	2,222,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,775	350,775
資本剰余金	302,365	302,365
利益剰余金	2,963,764	2,845,071
自己株式	△315,896	△315,896
株主資本合計	3,301,009	3,182,316
新株予約権	72,360	72,360
純資産合計	3,373,369	3,254,676
負債純資産合計	5,474,428	5,477,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,214,991	1,220,213
売上原価	242,364	252,740
売上総利益	972,626	967,473
販売費及び一般管理費	780,121	863,624
営業利益	192,505	103,848
営業外収益		
受取配当金	90	—
未払配当金除斥益	114	156
事業譲渡益	755	—
その他	121	38
営業外収益合計	1,081	194
営業外費用		
支払利息	243	240
営業外費用合計	243	240
経常利益	193,342	103,803
税金等調整前四半期純利益	193,342	103,803
法人税、住民税及び事業税	20,900	438
法人税等調整額	45,783	35,688
法人税等合計	66,683	36,127
四半期純利益	126,658	67,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,658	67,676

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	126,658	67,676
四半期包括利益	126,658	67,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,658	67,676
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	868,837	268,729	77,424	1,214,991
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	868,837	268,729	77,424	1,214,991
セグメント利益	184,485	114,247	60,569	359,302

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	359,302
全社費用(注)	△166,797
四半期連結損益計算書の営業利益	192,505

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	857,603	285,046	77,563	1,220,213
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	857,603	285,046	77,563	1,220,213
セグメント利益	123,726	72,398	60,073	256,199

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	256,199
全社費用(注)	△152,350
四半期連結損益計算書の営業利益	103,848

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。